

平成 21 年 2 月 4 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先 経営企画部長 林 毅俊  
電話番号 03-5730-2480

**NF- $\kappa$ B デコイの歯周病に対する有効性を動物試験において確認  
—科学雑誌”Antioxidants & Redox Signaling”に学術論文を掲載—**

大阪大学が行った NF- $\kappa$ B デコイの研究において、歯周病に対する有効性が動物試験において確認され、同試験結果が科学雑誌”Antioxidants & Redox Signaling”(電子版(Instant Online))に掲載されましたのでお知らせいたします。

本研究結果は、独立行政法人医薬基盤研究所の平成 17 年度保健医療分野における基礎研究推進事業の助成対象として採択された「新規高機能付加型医療機器の開発」プロジェクトの成果であり、国立大学法人大阪大学大学院医学研究科において実施されたものです。

本研究において、NF- $\kappa$ B デコイはイヌ歯周病モデルの歯根部歯肉粘膜下に投与したところ、歯周炎による歯肉の退縮、歯槽の骨吸収を統計学的に有意に抑制しました。また、イヌの歯槽骨欠損モデルを用いて、NF- $\kappa$ B デコイの創傷治療効果を検討したところ、コントロールと比較して、歯槽骨欠損部の治癒促進効果が確認されました。これは、NF- $\kappa$ B デコイにより、歯周炎発症時に亢進される IL-6 (interleukin-6) や MCP-1 (monocyte chemotactic protein-1) 等の炎症因子産生を抑制することで、破骨細胞の活性化を抑制し、骨吸収を抑制することが示唆されました。一方で、骨代謝に関与する正常な細胞には影響を及ぼしませんでした。

歯周病は、歯肉炎と歯周炎に大別されますが、中でも歯周炎は歯肉に初発した炎症が深部歯周組織に波及したものであり、プラーク中の口腔細菌がその原因であると考えられています。歯周炎の治療には抗生物質や抗炎症薬が用いられておりますが、歯と歯周組織を連結している付着機構が壊れ、次第に歯槽骨も吸収されてしまうため、重症になると抜歯することになります。

なお、本発明に関しては、「歯周病、及び外科手術による歯槽骨欠損の治療剤」として特許出願済みであり、当社は独占実施権を有しております。

当社は、炎症と骨吸収を制御できる NF- $\kappa$ B デコイが歯周病の治療薬となることで、歯周病治療の選択肢が更に広がることを期待しています。

以上